

フォーカス

ホームックス社長 餅原 幹也 氏

(もちはら・みきや)

廃棄物処理やビルメンテナンス、施設運営管理などを手掛けるホームックス(本社豊田市)は、あらゆる空間を総合的に管理する「快適環境創造企業」として、地域の人々の暮らしを支えている。2020年に創業50周年を迎え、100年企業を目指してさらなる挑戦を続ける。今後の戦略などを餅原幹也社長に聞いた。

― 足元の状況は。

「コロナ禍は、当社の業務が人々の生活を支えていることを再認識するきっかけにもなった。お客さまに喜んでもらうことが一番だが、そのためには従業員を

(聞き手・小山楓)

大切にし、育てていくことも必要だ。時間を守ること、2S(整理・整頓)、あいさつなど、当たり前のことだが、それを徹底して取り

お客さまに頼られる企業に

組む従業員がいるからこそ、当社の信頼にもつながっている。職場勉強会やサービス改善制度など、従業員の声を吸い上げる機会を設け、従業員にとって、さらにやりがいを持って働けるような環境をつくっていきたい」

― 施設管理運営事業について。

「自治体が所管する公共施設などにおいて、民間事業者が管理運営する国の指定管理制度をきっかけに、06年から豊田市で施設の管理運営を行っている。それぞれの施設では、地域の皆さまに喜んでいただけるようなイベントなどを企画しており、環境サービスの提供だけでなく、まちの活性化に貢献している。また、それが地域貢献だけでなく、従業員のやりがいにもなっており、お客さまの要望に応えるという従業員のチャレンジ精神も当社の強みといえるだろう」

― 力を入れている取り組みは。

「当社の指定管理の実績

「従業員のチャレンジ精神も当社の強み」と話す餅原社長



PFI事業に注力、エリア拡大へ

は、県内でもトップクラス。その経験を生かしてグループ全体で連携し、PFI事業にも力を入れていきたい。4月からは代表企業として、名古屋農産センターの管理運営に携わっている。今後は三河エリアだけでなく、名古屋などさらにエリアを広げていきたいが、それぞれの地域にしっかりと根差し、地域にとってなくてはならない存在になりたい」

― 今後の展望は。

「これからは100年企業を目指し、『快適以上をつくれ。』のブランドメッセージのもと、新しいことにもどんどん挑戦していきたい。『おもしろい会社だな』と興味を持っていただけるよう成長を続けていく。何かあったときにはホームックスに頼ってみようと思いたい」